

仙北市議会議員活動紹介



■使った水をまた使える水に戻す再生循環システム



■新たな給水設備を視察した産業建設常任委員会のメンバー

産業建設 常任委員会

未来の給水設備を視察

この度、秋田県で水道管路等の設備投資が高額となり得る過疎地域等において、新たな技術導入の可能性調査を行うこととなりました。「小規模分散型給水設備導入可能性調査事業」により、寒冷地での冬期実証実験として、西木町で令和6年10月から令和7年3月までの期間2軒の住宅で行われる予定です。

「小規模分散型水循環システム」とは、水処理の自律制御技術により、使った水をその場で処理し、また使える水に戻す再生循環の仕組みで、寒冷地オペレーションの適正化には大きな期待を寄せています。

仙北市では、人口減少・過疎化が進むなかで、多くの水道管路設備が耐用年数を超えて老朽化しており、管路更新が急務となっています。今後の更新コストの増大が大きな問題となっていますが、持続可能な水インフラを実現するための代替可能性を検討するため視察させていただきました。

(西宮三春記)

蒼生会

福井県大野市へ行政視察

視察の目的

仙北市は、人口減少社会に対応した持続可能なまちづくりを推進するために、令和7年度中に「立地適正化計画」を策定する予定です。

福井県大野市は、総面積872.43km²、人口3万人、財政規模も類似した自治体であり、北陸の小京都とも言われています。大野市は、平成30年に都市再生特別措置法に基づき「大野市立地適正化計画」を公表し、この計画の運用を始めていることから、先進地である大野市の取り組み状況と課題等について視察させていただきました。

立地適正化計画とは

人口減少や超高齢化社会化においても、持続可能な「コンパクトなまちづくり」に具体的に取り組む計画です。

全ての市民が公共交通で医療・福祉・商業施設等に行けるように住居等がある程度まとめた立地するまちづくりです。

視察内容と感想

◆立地適正化計画の区域（どの範囲にまとめるか）

◆立地の適正化に関する基本的な方針（理解を図る）

◆都市機能誘導区域（病院、商業施設等の配置場所）



■大野市職員の説明後に談笑する蒼生会の面々

(高橋輝彦記)

◆居住誘導区域（住居等の配置場所）
◆誘導施設（福祉施設、学校等の配置場所）
※多くの自治体で市街地の拡散が進み、今後の急激な人口減少により、一定の人口密度に支えられてきた生活サービスの提供が困難になり、道路や公共施設等の老朽化も著しく、厳しい財政制約の状況を打破するために、住居をコンパクトにまとめ、医療、学校、福祉、商業施設等に簡単に行ける『コンパクト・プラス・ネットワーク』のまちづくりを目指したものであるが、仙北市民の土地に対する愛着の強さを考えると、効率的な運用だけでは、市民の理解は得られないことから、大胆なアレンジが必要と感じました。

市民参加の表紙の写真第2弾です！

市民提供の表紙の写真第2弾は、県展の入選常連者で特賞や奨励賞も複数回受賞している西木町西荒井の水戸谷 彰さんです。

写真愛好家の方々から噂を聞いて、今回の表紙の写真をお願いしたところ、「どうも私の写真は万人受けしないんだよなあ。」とのこと。ポスター掲載等で、自分がいいと思ったもの以外の写真が選考されるのだそうです。

県展には主に人物系の写真を出展しているそうですが、今回は凍てつく寒さの厳冬の中で青空を待っての「友情の滝」と滝を取り巻く雑木たちを激写しております。

何か、こう「ゾクッ！」っとしたものを感じませんか？！

秋田県地方自治功労者表彰受賞

10月31日、県庁で開催されました秋田県地方自治功労者表彰式で、自治功労により黒沢龍己議長と荒木田俊一議員が表彰されました。

この受章は、長年にわたる職務の精励や功績、功労が認められたものです。

これまでのご苦労に感謝し、心からお祝いを申し上げますと共に今後まだまだ仙北市議会をリードしていただきますと思います。



今なお万年青年のお二人です！！

お知らせ

おでかけ市議会

仙北市議会では、市民の皆さまと議員との意見交換会「おでかけ市議会」を募集しております。

議会から皆さまに意見交換会をお願いする場合がございますが、市民の皆さまがお申し込みを行う場合は、以下の要領をご確認のうえ、議会事務局にご連絡ください。お待ちしております。

- (1)対象…市内在住又は在勤の方々で構成する 10 人以上のグループとさせていただきます。
- (2)開催場所…ご希望の場所で開催いたします。
- (3)テーマ選定…意見交換するテーマを決めていただきます。(例：やりたいこと、人口減少、まちづくり、財政、農林業振興、観光、企業誘致、病院、教育、クマ・イノシシ対策、環境、福祉関係、議会など)
- (4)参加議員…選定されたテーマにより所管する委員会の議員がおでかけして参加します。

●お申込み先…仙北市議会事務局
TEL0187-43-0334

みなさまの応募をお待ちしてます！



編集後記

市政の様子を議会側の視点から、市民の皆様に伝えたい思いで編集に取り組んでいます。事の流れをより分かりやすく、と文言に注意を払っているつもりですが、表現が事実と違うように捉えてしまうなどの意見を伺い、編集に細心の注意をより一層払いたいと思います。

念願の旧角館病院の解体工事が始まりました。合併特例債を利用して経費捻出のため、旧角館病院管理棟を上野庁舎とする改修事業も予定されています。完成後は、田沢湖庁舎に45人の職員が残り、上野庁舎に配置される職員は99人ですが、市議会だより75号では、令和8年2月に45人も移ると捉えられる内容になっていると指摘をいただきました。感謝します。

新しい事業に向かって、当局から議員全員協議会開催の要請があり説明をいただきますが、経過報告が主で深まりのある議論には至りません。内容について翌日の新聞報道で、市民の皆さんには、決定事項として伝わることも多々あります。インターナショナルスクール誘致・今後の西宮家運営などに関心を寄せる市民の声も反映されるよう、議会は一役を担う場でありたい。皆様の声をお聞かせください。

(平岡 裕子委員長 記)